

「福島に学ぶプロジェクト」 活動報告

タイトル	福島に学ぶプロジェクト活動 結果報告		
学校名	福島市立蓬萊中学校	教員名	伊藤 貴大
学年	全学年	教科	理科、美術、学級活動、 総合的な学習の時間
使用した教材、 教科書等	理科の教科書、放射線関連の書籍や福島県教育委員会より発行されている資料		

1. 目的

東日本大震災及び原子力災害を経験した福島において、放射線について科学的に理解するとともに、課題を見出し、協働的な学習や発表活動を通して、自ら考え表現する力を育成することを目的として本プロジェクトに参加した。

2. 活動内容

① 放射線に関する基礎学習の実施

理科の授業において、放射線の性質や利用、健康影響等について科学的に理解する学習を行った。

② 調査・探究活動

環境再生プラザ、語り部、大学教授、福島イノベーションコースト構想の方からの講話や、東日本大震災・原子力災害伝承館、コミュタン福島、震災遺構浪江町立請戸小学校、特定廃棄物埋立情報館リプルン福島での校外学習を実施した。

③ 協働的な学習活動

ペア学習や意見交流を取り入れ、他者の考えを踏まえながら思考を深める活動を行った。

④ 表現・発信活動

スライドを用いた発表や文化祭での展示・発信を行い、学習成果を分かりやすく伝える機会を設けた。

3. まとめ

本活動を通して、生徒は放射線について正しい知識を身に付けるだけでなく、自ら問いを立て、他者と協働して考えを深め、自分の考えを相手に伝えようとする姿勢が見られるようになった。アンケートからも、「正しく知ることによって不安が軽減した」「福島の実状を全国に伝えたい」といった前向きな意見が多く見られ、主体的・対話的な学習の成果が確認できた。今後は、本実践を教科横断的に広げ、継続的な放射線教育の充実を図っていきたい。

4. その他

福島県教育委員会をはじめ、ご協力いただいた関係機関・地域の皆様には深く感謝申し上げます。また、保護者様のご理解とご協力のもと活動を実施することができましたことを感謝いたします。

5. 参考文献等

- ・放射線等に関する指導資料(福島県教育委員会)
- ・放射線副読本(文部科学省)
- ・新編新しい科学2 (東京書籍)
- ・新編新しい科学3 (東京書籍)
- ・福島県公式ホームページ

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/>)



被災地を見学する生徒



資料館を見学する生徒